

**キャナルシティ博多 イーストビル再開発の計画着手
人とつながり豊かな暮らしをデザインする複合施設へ
-着工まで期間限定広場で多彩なイベントを開催-**

福岡地所株式会社（本社：福岡市博多区、代表取締役社長：榎本一郎）は、福岡市博多区祇園町に位置するキャナルシティ博多イーストビル（以下、「イーストビル」）について、建替計画（以下、「本計画」）に着手いたしましたのでお知らせします。

九州初の大型複合施設として誕生したキャナルシティ博多は、開業以来、地元・福岡だけでなく、九州、アジアからも多くの方にご来場いただき、新しい価値やエンターテインメントを提供して参りました。これからのキャナルシティ博多は、福岡 x アジアのミックスカルチャーを生み出す「職住遊」が融合した人々の豊かな暮らしの場へ進化していきます。



（再開発後の俯瞰イメージ）

現在のイーストビルについては、2023年5月に閉館し、将来的には、都心部の洗練されたライフスタイルを実現する商業施設やハイクラス賃貸レジデンス、短期から長期滞在まで国内外のお客さまの幅広いご要望にお応えするサービスアパートメントなどからなる複合施設（以下、(仮称)新イーストビル）の開発を計画しています。なお、(仮称)新イーストビルは福岡市地下鉄「櫛田神社前」駅と直結しキャナルシティ博多本館ともつながる予定です。



(再開発後の低層部イメージ)

福岡地所グループは、地域に根差したディベロッパーとして、「福岡をもっとおもしろく」「大きな夢がかなう街（まち）にしたい」という思いで、オフィスビル・商業施設・マンション・ホテル・物流施設等の企画開発に取り組んで参りました。今後とも、福岡の「街」の魅力を高め続けるため、時代に先駆け新たなプロジェクトに挑戦し、より一層、企業や人を呼び込む街づくりに邁進いたします。

2024年夏オープン予定 期間限定広場

2024年夏から（仮称）新イーストビルの工事着工までの間、賑わいと憩いの広場が期間限定でオープンします。広場ではスポーツも楽しめるほか、仮設店舗の出店、幅広い年代の方にお楽しみいただけるファーマーズマーケット、セレクトされた生活雑貨やテーマ性のあるマルシェ、チャンネルシティ博多の店舗とタイアップしたイベントなどを計画中です。

国内外では、開発予定地で事業が本格化するまでの間、市民に開かれた新たな賑わい拠点を構築するなど、暫定利用期間の有効活用方法が街づくりの新たなテーマになっています。国内外の様々な事例から検討を行い、この地域に適した広場を設置し、年間を通じ様々なイベントを開催することにより、地域のにぎわい創出を図ります。



(期間限定広場のイメージ)

※本リリース内のイメージパースはすべて計画段階のものであり今後変更になる可能性があります